

政策	51 学校教育の充実					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象						
施策が目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な教育プログラムの導入により「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた学校教育の推進を図る。 ・充実した学校教育を支える教育体制や学校施設の確保、教育環境の均等を保つ学校の適正配置を進める。 ・地域社会が一体となった総合的な教育環境の充実を図る。 					
成果指標	保護者の学校教育に対する満足度					
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定				85.00
		実績	85.00	92.80	86.45	87.35
	成果指標2 []	予定				
		実績				
	成果指標3 []	予定				
		実績				
	成果指標4 []	予定				
実績						
トータルコスト (千円)	予定	4,847,258	5,561,369	7,778,132	5,054,246	3,529,806
	実績	4,668,862	5,215,145	7,009,605	4,677,776	3,859,699
内部評価	貢献度	基本方針が目指す「将来を担う心身ともに健やかな人材の育成」には、学校教育の充実は必要不可欠であり、本施策の目標達成による貢献度は高い。				
	達成状況	本施策の目標「保護者の学校教育に対する満足度」において、目標値を達成しており、各単位施策は、概ね目標通りで進捗している。				
	課題	目標未達成の単位施策については、不登校、いじめ問題の対策について、教員への研修及び相談体制の充実を図る必要がある。また、学習課題を把握し、指導の改善を図る。				
	取組方針	教職員の学習指導等を向上させるため、訪問指導を行う。また、不登校、いじめ問題対策の研修及び相談体制の充実を図る。小中学校適正配置基本方針に基づく取組の推進。				
外部評価	<p>本施策の成果指標である保護者の学校教育に対する満足度は目標を達成しており、下位の単位施策における成果指標も概ね達成していることは評価に値する。</p> <p>しかしながら、単位施策のうちでも重要な指標で未達が続いていることは、今後に市が取組むべき課題として真摯に受け止め、基本施策と単位施策間の成果指標の整合性の検討も含めて、具体的な対策を講じられることに期待したい。</p> <p>また、総合計画の指標の設定で、外部評価での意見を参考に、次期総合計画で修正がされたことは評価できる。</p> <p>引き続き、本市の学校教育の充実が図れるよう努力されたい。</p>					
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度
	5101	確かな学力の育成			231,791	100
	5103	魅力ある教育環境の充実			2,093,262	100
	5104	一貫性のある教育の充実			900	100
	5102	豊かな心及び健やかな体の育成			1,533,746	97

平成29年度 基本 施策評価表 補表

施策	51 学校教育の充実		
区分	妥当性	妥当	基本方針が目指す「将来を担う心身ともに健やかな人材の育成」には、義務教育である学校教育の充実が必要不可欠であり、当該基本施策の実施は妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の実施方法等を工夫改善することにより、コスト削減を図る余地がある。
	受益者負担	適正	本施策は、事業内容により適正な負担を求めている。
	上位貢献度	有効	将来を担う人材の育成には、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する学校教育の充実が、貢献度が高い。
	類似事業の有無	無	他の類する事業はなく、代替は困難である。
	成果向上の余地	有	学校・家庭・地域が一体となって学校教育を推進することにより、成果向上を図ることができる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	将来を担う子どもたちの「生きる力」として、基礎的な学力、心身の健康、地域への愛着や誇り等を育むため、教育環境の整備、学校教育を支えるための教育体制の充実を推進する本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	保護者の学校教育に対する満足度は、目標値を上回ることができた。	
	課題	全国学力・学習状況調査において、全国平均正答率とほぼ同程度であったことから、学習指導方法の改善・教職員の資質向上を図る必要がある。不登校出現率の増加、いじめ解消率の低下については、学校・家庭・地域の連携、相談体制及び児童生徒指導体制の充実を図る必要がある。	
	取組方針	学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法の工夫改善を進められるよう、指導主事による指導訪問等を通して、授業研修会を活性化し、教職員の資質向上を図る。不登校出現率、いじめ解消率の改善に向けて、不登校やいじめを未然防止できるよう児童生徒支援研修会や、学校への訪問指導等で教職員の意識向上を図るとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等により相談体制の充実・活用を図る。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	将来を担う子どもたちの「生きる力」として、基礎的な学力、心身の健康、地域への愛着や誇り等を育むため、教育環境の整備、学校教育を支えるための教育体制の充実を推進する本施策の貢献度は高い。	
	達成状況	保護者の学校教育に対する満足度は、目標地を上回ることができた。	
	課題	全国学力・学習状況調査は、全国平均正答率とほぼ同程度であり、目標を未達成の状況であることから、学習指導方法の改善・教職員の資質向上を図る必要がある。不登校出現率については、年々増加している状況が続いている。また、いじめ解消率については、積極的にいじめを認知することにより認知件数が増加し、H29に解消率が低下している。学校・家庭・地域の連携、相談体制及び児童生徒指導体制の充実を図る必要がある。	
	取組方針	学力・学習状況調査の結果の分析と指導方法の工夫改善を進められるよう、指導主事による指導訪問等を通して、授業研修会を活性化し、教職員の資質向上を図る。不登校出現率、いじめ解消率の改善に向けて、不登校やいじめを未然防止できるよう児童生徒支援研修会や、学校への訪問指導等で教職員の意識向上を図るとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等により相談体制の充実・活用を図る。	